

2学期 始業式

今日登校して学校が足場に囲まれていることにびっくりしたと思います。廊下が暗くなっているところもありますね。これは校舎をきれいに塗りなおす工事が来年の3月まで行われるからです。北門近くには事務所や倉庫などが置かれたり、車も何台か止まりますので、北門付近には近づかないようしてください。また、校内で作業員さんが様々な作業をされます、あわせて知っておいてください。

長い夏休みが終わり、今日から2学期が始まります。楽しい夏休みを過ごすことが出来ましたか？特に楽しかった思い出を是非、お友達や先生に教えてあげてくださいね。

それと、1学期の終業式にお願いした「早起きをする」・「読書をする」・「明日や将来をイメージする」はしっかり出来ましたか？どれも学校生活においては重要なことですので、2学期も継続して行ってください。

さて、今年は「終戦80周年」ということで、80年前の戦争についての様々なTV番組やニュースが沢山ありましたね、皆さんも1度や2度は見たと思います。今日は戦争に関して校長先生のおじいちゃんのお話をします。校長先生のおじいちゃんは終戦間際に赤紙が来て、兵隊として南方に送られましたが、途中でアメリカ潜水艦の攻撃を受け、輸送船は沈没し、おじいちゃんは海に投げ出されました。幸い浮いていた船の破片にしがみつき、丸2日間海に浮かんでいるところを助けられ、日本に帰ってくることが出来ました。海に浮かんでいる途中、苦しくて何度も諦めかけたそうですが、その度に日本に残した家族を思い、頑張ったそうです。もし、おじいちゃんが途中であきらめて、眠ってしまったり、手を放してしまったりしていたら、校長先生はこの世に誕生しなかったですし、そうなれば先生の子供や孫も誕生することはありませんでした。皆さんも同じですよね。皆さんのおじちゃん・おばあちゃん、曾おじいちゃん・曾おばあちゃんがもし戦争で亡くなっていたら、皆さんもこの世に生まれてこられなかつたのです。

そう考えると、皆さんがこの世に誕生したこと、命を与えられたことは本当に貴重で奇跡的だったことがよくわかると思います。そんな命を大切にし、決して粗末に扱うことはしないでください。そして、あの戦争では日本だけでも300万人以上の犠牲がありました。もし、この人たちが犠牲にならなければ、生まれることができた命が沢山沢山あったはずです。そう考えると悔しくて仕方ありません。

今日の校長先生の話を通じて、皆さんには、「自分の命の大切さ」と「戦争で失われた命の多さ」について考えてほしいと思います。どちらにしても戦争は絶対に起こしてはいけないんだ！ということを強く思ってほしいと思います。これで校長先生のお話を終わります。